

但馬

馬

空

みんなに愛される
但馬空港が一番!!
活性化をめざす

港

東京直行便実現に向けて 地道な活動を続ける

『社団法人豊岡青年会議所』が但馬空港をつくろうと提言したのは、1981年の自主事業のひとつとして

喜び合いました。

しかし、さまざまな問題を抱える空港を考え、その後も空港のいろいろな面を取り上げてきました。

「3年前、企業対象に但馬空港につ

夢見て、コツコツとした活動を続け、1994年但馬空港が現実に開港。夢が叶ったのです。そして、但馬空港開港記念イベントを盛大に行い、1万5000人の人々が但馬空港へ集い、みんなが開港を

1994年5月に開港した但馬空港。但馬と大阪の空を結んでいる旅客機はサーブ340B型機。



いてのアンケートなどいろいろな調査・研究をおこなつたんですが、その結果、東京便の需要が多いことがわかりました。東京直行便がほしいという意見がとても多かつたんです。現在は東京までの接続が良くなつて、2時間になりましたが、これから但馬の発展のために新規路線、中でも東京直行便を実現させたいと思っています」

現在、東京直行便実現に向けての署名活動を展開中。豊岡青年会議所の現役・OBメンバーを中心に行行政・各種団体にもご協力を願いています。従来の署名運動とは違い、運輸省に対し法的な力で何かを請求する署名ではなく、地域の皆さんに東京直行便に対して理解と夢を持つもらいたいというのが狙いです。

「これから但馬をしょって立つ、中高生を含む未成年の方々にも、ぜひ協力してほしいと思いながら街頭に立つて、声をかけたりするんです

が、結構まじめに聞いてくれたり、『頑張ってください』というあたたかい声援をもらったりして、うれしかったですね。自分たちの時代だけではなく、その先のこの子供たちの時代には但馬がもっと良くなつていて欲しいと思いますよ。さまざまな可能性を秘めている但馬空港をどうしていくのかは、ここに住んでいる私たちの気持ち次第ですから。そのためにも今の子供たちにも考えて欲しいです」

但馬に住む私たちが便利になることも大切ですが、それだけでなく東京直行便ができれば、関東地方の人々を但馬の観光地へ誘客することができると考えています。

「但馬の素晴らしいしさを関東の人々にも知つてもらい、気軽に来てもらいたいです」

ここにも但馬の可能性を引き出す鍵を但馬空港が握っているといえます。現在、3000人の署名が集まつ

ています。署名に走り回るメンバーも、皆さん応援に思わず力が入る瞬間です。とても地道な活動ですが、これらの積み重ねの持続が大きなものを動かすことができると信じています。実際、これらの活動によって但馬空港もできたんですから。東京直行便に対する夢と希望を持ててもらえるような内容のイベントを企画中。皆さん、楽しみにしていてくださいね。

街頭での署名運動の呼びかけが続けられています。地味な活動ですが、皆さんと接していくながら、ひとりひとりに思いを伝えていきたいと頑張っています。



街頭での署名運動の呼びかけが続けられています。地味な活動ですが、皆さんと接していくながら、ひとりひとりに思いを伝えていきたいと頑張っています。

が

元気印
のまちたち 4
The town is in high spirits

大

ス

キ



昨年行われた但馬空港フェスティバル'97にも参加。連隊曲芸飛行や子供たちを飛行機に乗せて見学してもらったりと大忙でした。みんなに喜ばれ、親しみを感じてもらえばと並んでイベントにも協力します。

但馬空港を小型機の集まるメッカにしたい

1995年7月1日、エアライ

ン・パイロットを中心に発足した『但馬飛行クラブ』は、今日も但馬の空を飛び立ち、気持ち良さそうに遊覧飛行を続けています。1997年

12月、小型機5機を収納できる格納庫ができるばかり、現在はB-E33ボナ・ザJA3446、8KCABスリ・パー・デカスロンJA4227、H36デイモナJA2528の3機を所有し、白石公男会長を筆頭に会員は約30名。現役のエアライン機長や元機長、双発計器事業用操縦士を指導陣に会社員、公務員、OLなど、さまざま職種の人々が集まっています。

飛行機を自分が操縦して空を飛ぶって、すごいと思いませんか。但馬大好きで、みんなで楽しみたいと思っている人たちの集団。手軽な料金明るい雰囲気の中でエアラインと小

型機の技術情報の交換をしたり、ひ

とつのクラブで自家用から計器証明までの訓練、エアロバティック、グライダーと多くの種類の飛行が楽しめます。日本各地の飛行クラブと姉妹提携を結び、相互訓練も実施したりしています。

「但馬空港は朝と夕方の2便、大阪空港と往復していますが、その間は使われないなんてもつたいないじゃないですか。こんなに良い空港があるのに。特に但馬空港は、海があつて山があつて気流がとてもいいんです。こんな好条件の揃っている場所を利用しない手はないでしょう」

単に自分たちだけが楽しければ良いというのでは、但馬の人たちに受け入れられない。地元の人たちとも親しくなつて交流しなければ長続きしないという考え方から、イベントが行われれば一緒に参加し、曲芸を見せたり、子供たちを乗せて遊覧飛行をしたりとさまざまなボランティア活動を展開しています。

アメリカのオシコシ空港で毎年おこなわれるイベントには、1万機もの小型機が集まるとか。『但馬飛行クラブ』の夢は但馬空港をオシコシ空港のような空港にすること。

「ぼちぼちやりますよ。オシコシ

空港でもはじめから1万機も集まつた訳じゃない。25年の歳月をかけて、ここまで大きくなつたんですから」



但馬空港

●大阪空港～但馬空港間35分

大阪空港→但馬空港

491便 8:45発 9:25着

493便 16:50発 17:30着

●航空機料金 大人10,000円 子供5,000円

●四季彩ルート 但馬～大阪間大人2名以上35%割引実施中

●但馬から東京が2時間に(大阪空港で乗り継ぎ)

但馬空港9:50発～羽田空港11:45着

●乗り継ぎ割引で9,000円もお得

25,950円→16,850円(通常期)

問い合わせ・予約先

日本エアコミューター但馬空港 TEL0796(26)1515

神戸予約センターTEL078(391)7611